

映画「ちよつと今から仕事やめてくる」を見てきました

厚生労働省が映画とコラボして作成したポスター



名古屋北労働基準監督署長 野原敏裕

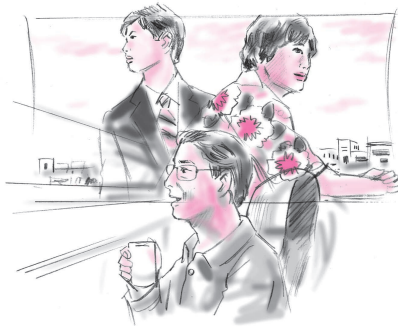
36

「（映画は「ちよつと今から仕事やめてくる」、厚生労働省は「ちよつと今から相談行ってくる」）が当署にも掲示されている。今、人気の福

士蒼汰や、工藤阿須加、吉田鋼太郎等が出演しているというところで、家内と一緒に映画館に行った。ストーリーは、「ブラック企業で働くサラリーマン青山（工藤阿須加）が、精神的に追い詰められ、電車にはねられそうになったところを幼なじみと名乗る山本（福士蒼汰）が救うところから始まる物語で、その後も危ないところに山本が現れ、青山は徐々に立ち直っていく。しかし、山本は、3年前に自殺していた……」。こういう誌上で

あらずじをどこまで書いてよいのかよくわからないので、概ね公表されている程度にするが、途中、思わぬ展開となる。パワハラや長時間労働をとらえながら働くとはどういうことかということを考えさせられる映画であり、是非、皆さんにも見てほ

しいと思う。さて、映画は結構好きでこれまで、映画館にはよく通った。子供の頃は、母親に連れられて、年に何回か行っただろうか。



当時は、ゴジラなど怪獣映画が最盛期であった。だいたい、2本立て、入れ替えなしだった。いつも館内は満員で、途中で入って、2回目に座って見るとい感じだった。高校生になってからは、友人とよく見に行ったが、燃えよドラゴン、ジョー

ズ、タワーリングインフレノ、ローマの休日等が記憶に残っている。今だとR-18になるかという映画も人気があった。大学に入ってからも、暇があれば、よく映画館に通ったが、その後は、ビデオが出始め、あまり映画館には行かなくなった。

新作ビデオが出るのを楽しみに、少し待つてからかなりの本数を見た。007やアーノルドシュワルツェネッガーやジャッキーチェン等々のシリーズ物などを好んで見た。しかし、どの映画が、一番記憶にあるかというと、中学の頃に授業で見た「モーゼの十戒」と、大学生の頃に見た「野性の証明」であろうか。モーゼの十戒は、当時でもすりきれたような古い映画だったが、モーゼがユダヤ人を連れて逃避行する際、海が割れる場面があり感動した記憶がある。また、野性

の証明は、高倉健主演の角川映画で、薬師丸ひろ子のデビュー作だった。薬師丸ひろ子は、まだ子供であったが、その台詞や声、目がとても魅力的で、3回ほど映画館に見に行ったと思う。今でも薬師丸ひろ子のファンである。

ビデオが出てからは、映画館は少なくなつたが、今はシネコンとして復活している。いろんな映画を選択できるし、割合空いている。また、レイトショーや特定の曜日であれば値段も安い。さらに、夫婦50歳割引もあり、夫婦で行けばいつでも安くなるので、また夫婦で行こうかと思っているが、昔から家内とは、全く映画の趣味が合わず、私が手に汗握る場面でも、隣で、よく寝ている。とはいえ、これからも、映画館に通って良い映画を沢山見たいと思っている。できれば、2人で。

イラスト・森沢康代